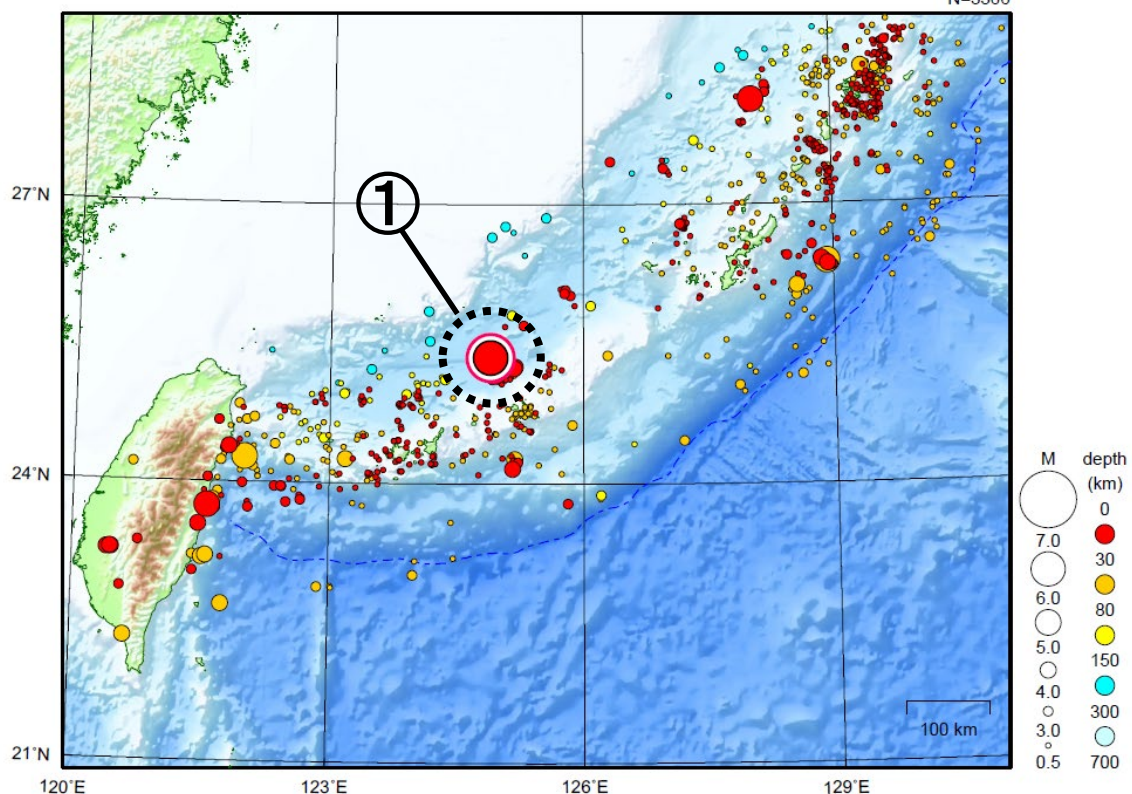


# 沖縄地方

2026/03/01 00:00 ~ 2026/03/31 24:00

N=3366



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

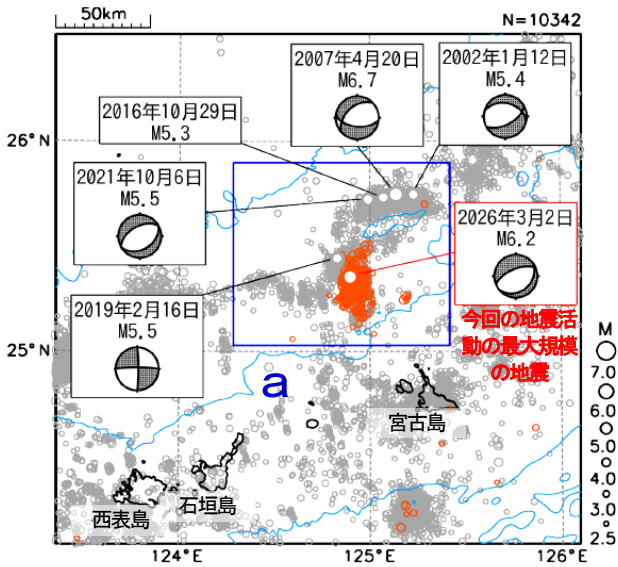
- ① 3月2日に宮古島北西沖で M6.2 の地震(最大震度 3)が発生した。宮古島北西沖では、3月中に震度 1 以上を観測した地震が 15 回 (震度 3 : 1 回、震度 2 : 7 回、震度 1 : 7 回) 発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

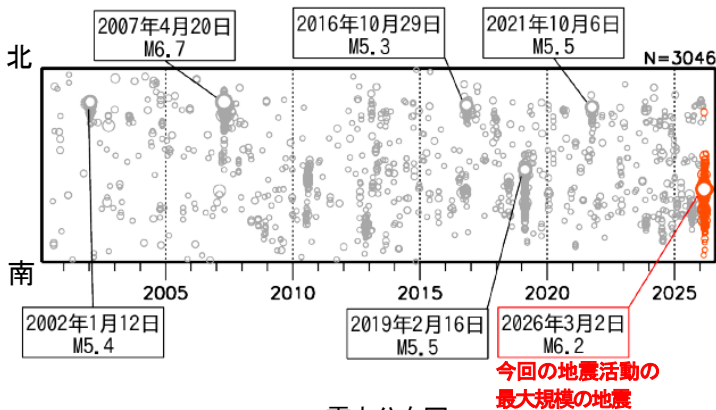
# 宮古島北西沖の地震活動

震央分布図  
(2000年7月1日～2026年3月31日、  
深さ0km～50km、 $M \geq 2.5$ )  
2026年2月26日～3月31日の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はGMT解



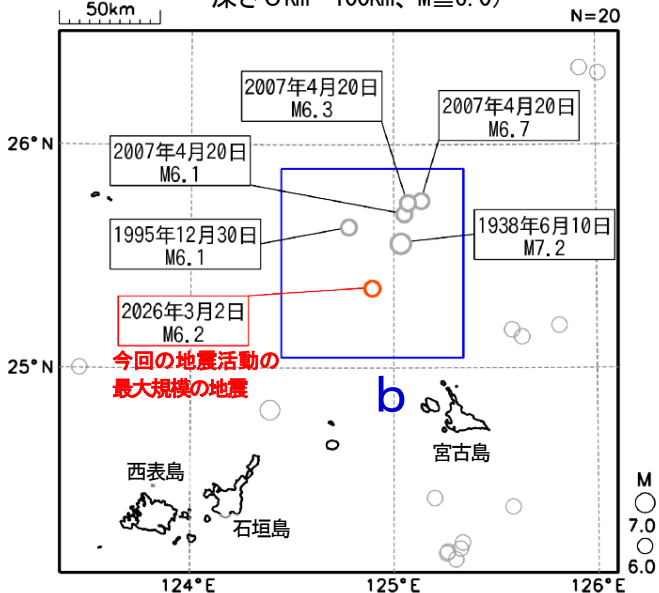
図中の水色の等値線は、水深1500mを示す

領域a内の時空間分布図（南北投影）  
(2000年7月1日～2026年3月31日)



震央分布図

(1919年1月1日～2026年3月31日、  
深さ0km～100km、 $M \geq 6.0$ )

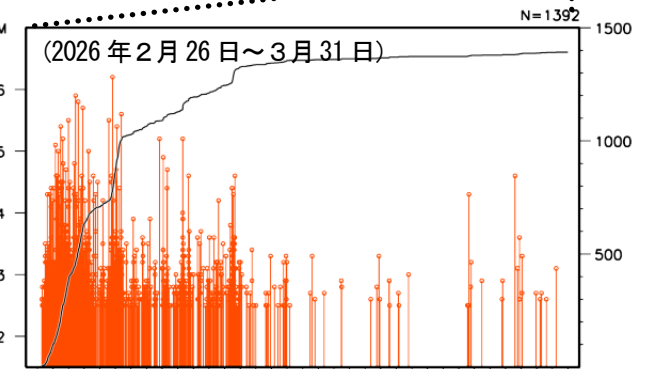
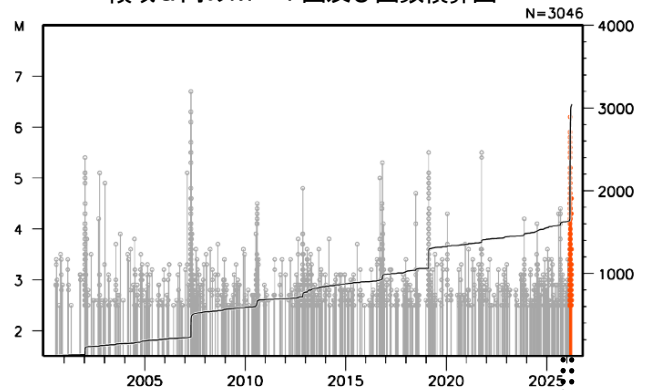


宮古島北西沖では、2026年2月26日から地震活動が活発となり、2月26日から3月31日までに震度1以上を観測する地震が32回（震度3：1回、震度2：13回、震度1：18回）で、これら一連の地震活動は、沖縄トラフ沿いで発生している。このうち最大規模の地震は3月2日19時39分に発生したM6.2の地震（最大震度3）で、発震機構（GMT解）は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型で陸のプレート内で発生した。

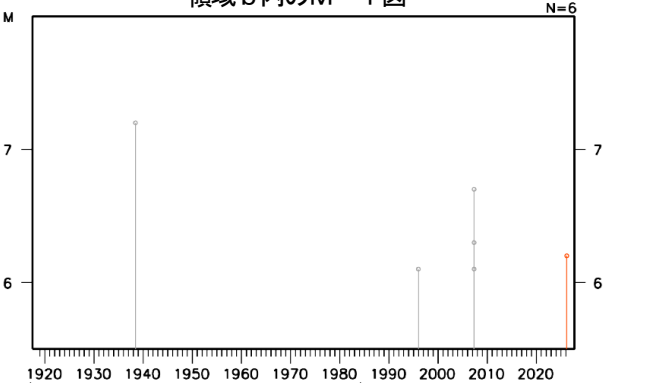
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震活動が時々見られる。2007年4月20日には、M6.7の地震（最大震度3）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震がまれに見られる。1938年6月10日にはM7.2の地震（最大震度4）が発生しており、宮古島平良港に地震後10分で津波が襲来して高さ1.5m（目視による最大の高さ）、栈橋の流出などの被害があった（被害は、日本被害地震総覧による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

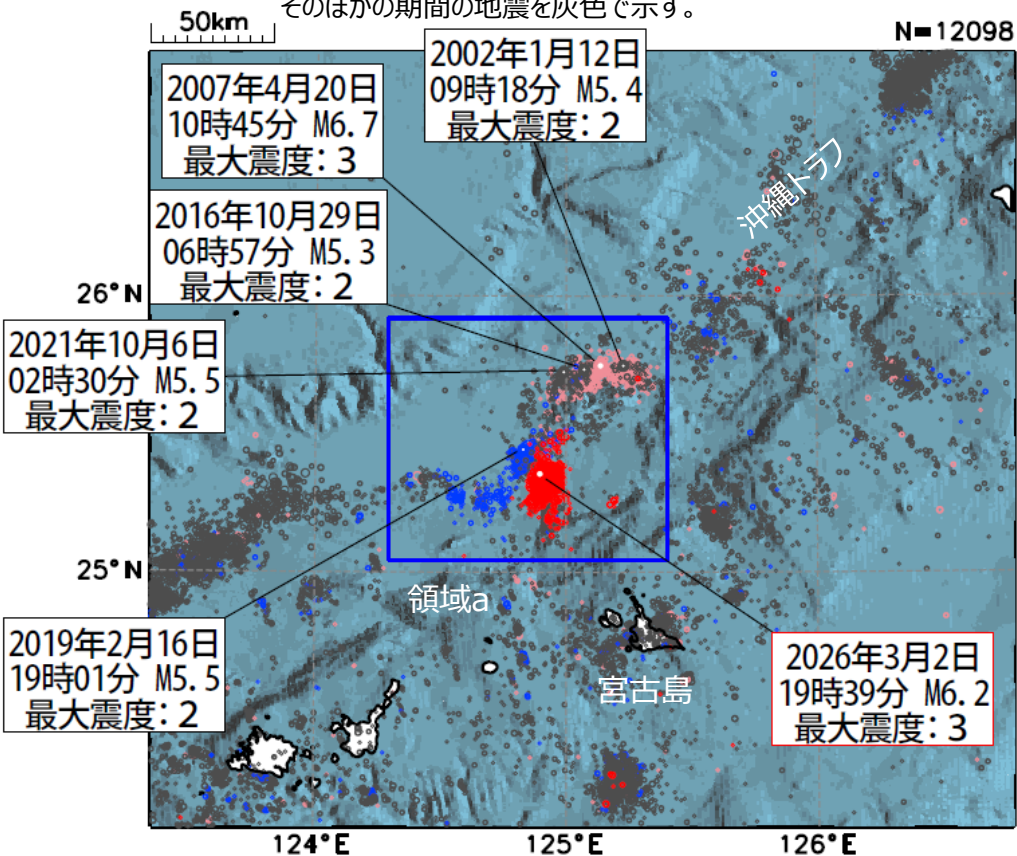


# 宮古島北西沖の地震活動

震央分布図

(2000年7月1日～2026年3月31日、深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ )

2007年1月1日～12月31日の地震を桃色  
 2019年1月1日～12月31日の地震を青色  
 2026年2月～の地震を赤色  
 そのほかの期間の地震を灰色で示す。



領域a内の時空間分布図 (南北投影)

